

「本山寺山森林づくりの会」活動報告(2/7)

文・写真：武田、写真：山國、山田

日時：2019(平成31)年2月7日(木) 9:30～15:30 // 天候：曇

活動エリア：「45 林班」内モニタリング調査区と斜面

活動内容：林床整備と作業道の整備

参加者：石原順子、内海宏一、斧田一陽、越野雅美、工藤貴志、後藤和子、武田壽夫、

山田真也、宮本 廣、山 國

(10名)

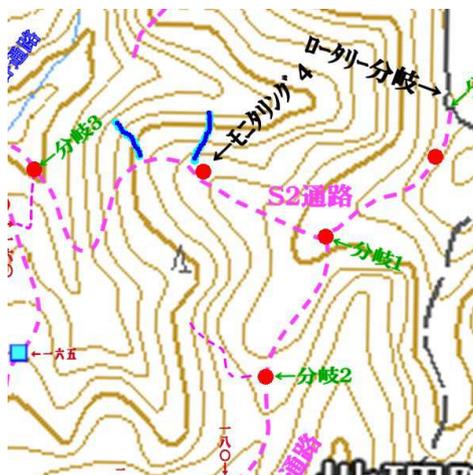
<久しぶりの活動日>

1月の第三日曜日は少雨・低温、翌週も同様で登り道の凍結を避ける為活動を休止。間が開いたので“満を待して”の集合となる。先ず、見違えるように整理された小屋の様子に一同ビックリ。

①活動前の勢揃い



② 活動地(モニタリング④)を通る作業道の北側斜面)



「ヘルメットも鋸も出し易い」と大好評、労を執られた倉谷・宮本・山國の三氏に感謝々々の声。

今日の作業地は「45 林班」内の人工林上部に設定したモニタリング調査区とその周辺。作業の内容は放置されたままの切り放し木の処理と崩れた作業道の整備、など々々。

<今日の成果>

一帯は里道から溪流まで標高差 30m はある斜面、一年経てば表土は流れ作業道は崩れてしまう。三班に分かれ、玉切り・棚積みの林床整備と拡幅・路肩補強の道づくりを併行して進める。斜面で足場は悪いが開けた谷なので風は無く、天気ももったということで作業は大いに捗り、林床は 250m × 20m=0.5ha、作業道は約 300m を整備。翌日は「足が張った」との声も。

<山だより>

◆イベント案内(3/2、於：ハートピア京都、映画と狩猟ガールのトーク)、森林管理局告知ポスター

③ 路肩補強の杭打ち



④ 残置木を積んで路肩の土留めを築く



人日本山岳会 関西支部

⑤ 補修した道を踏んで帰途へ



⑥ ヒサカキの花(2日よりも増えている)



⑦ 棚状地での林床整備



⑧ 左の作業後



⑨ 斜面での林床整備



⑩ 左の作業後



⑪ 斜面での林床整備



⑫ 左の作業後



⑬ イベント案内 (10:30, 14:00、ローソクチケットで前売 ¥1300) - 京都地下鉄丸太町⑤出口



⑭ 管理局のポスター(今日の活動地は地図の下側)

